

喜びの輪を広げたい22



🍊 「こんにちは 手にゴミ袋」

『こんにちは』小学6年生の女子クラブ員。手に大きな袋を持っていました。それは何かと尋ねると、『来る途中の公園が、ごみで一杯だったから拾ってきました！』
『本当はもっと拾いたかったけど、コスモの時間だったから来ました』
他のクラブ員たち「凄い！」と尊敬の眼差し。
保護者様にもお電話でお伝えさせていただきました。「びっくり！」

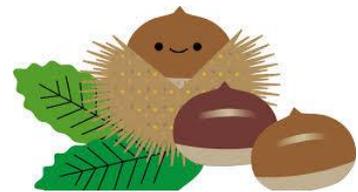
人間としての基本を身につける：コスモ教育目的のひとつ



🍊 後輩たちの刺激になっています

半年前に立派に卒業したサッカークラブOBがクラブに来てくれました。
中学校サッカー部でも日々努力し、コスモで約8年間培ってきたことが人生の土台となっていることを、後輩たち(現クラブ員)に話してくれました。
卒業生たちが部活等で忙しい中、時々クラブに来てくれるので、後輩たちにも良い刺激となっています。

🍊 本気でやるから楽しい



6年生の、〇〇さん。認定級1級まであと空中前回りのみでした。
黙々と練習を重ねてきましたが、なかなかできず、以前は「もう無理！」と諦める姿もありましたが、今日は失敗したときに「あと少し…」と自分で自分を奮いたたせて、ついに合格することができました。その瞬間、「やったー！！できた！！」と満面の笑顔。
1級合格の感想を「何よりも諦めずに本気でやるから楽しいって先生が言ってた！だから本気でやってみて、出来た時は本当に嬉しかったです！皆も本気で頑張ればできるようになるから頑張ってください！」と、話してくれて、他の子供たちのやる気にも繋がりました！

🍊 「お礼の気持ちを伝えよう」



事務所に手紙が届きました。
暑い日が続きますが、先生はお元気ですか。国語の授業で「お礼の気持ちを伝えよう」を学び、まっ先に〇〇先生の顔がうかびました。僕が体育の授業で二重跳びや跳び箱で楽しくできるのは〇〇先生のおかげだと思うからです。これからも一生けんめい練習しますのでたくさんご指導よろしくお願いします。